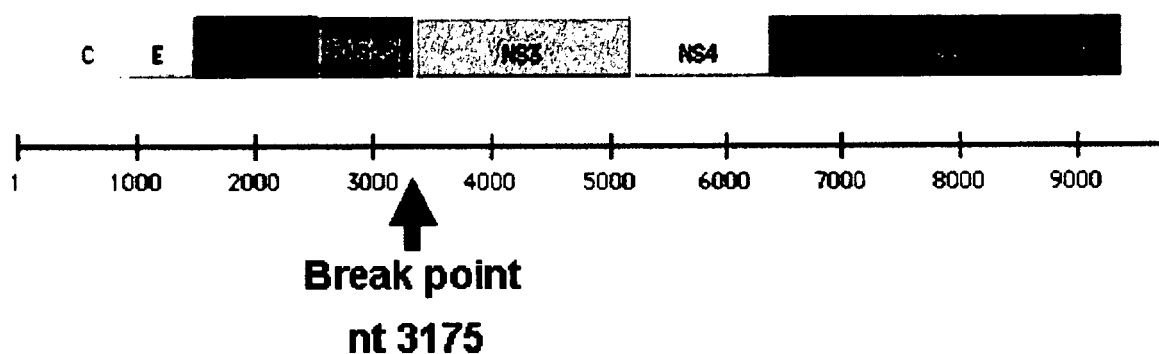


(a)

2a/2k primer (2948)  1b primer (3295) 1st PCR

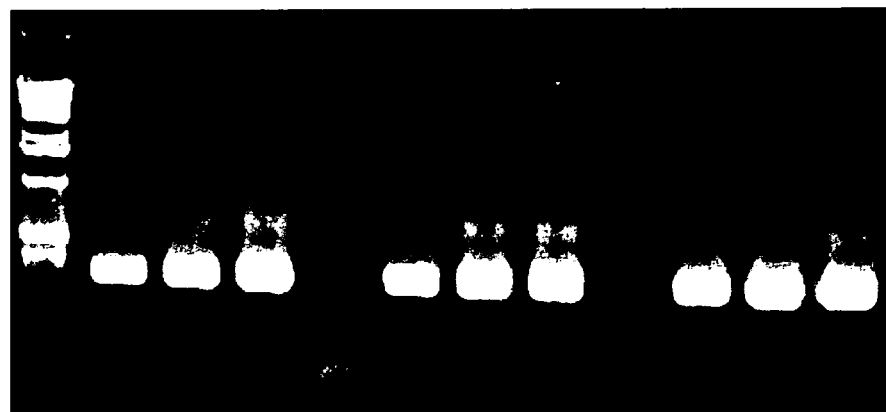
2a/2k primer (2999)  1b primer (3295) 2nd PCR



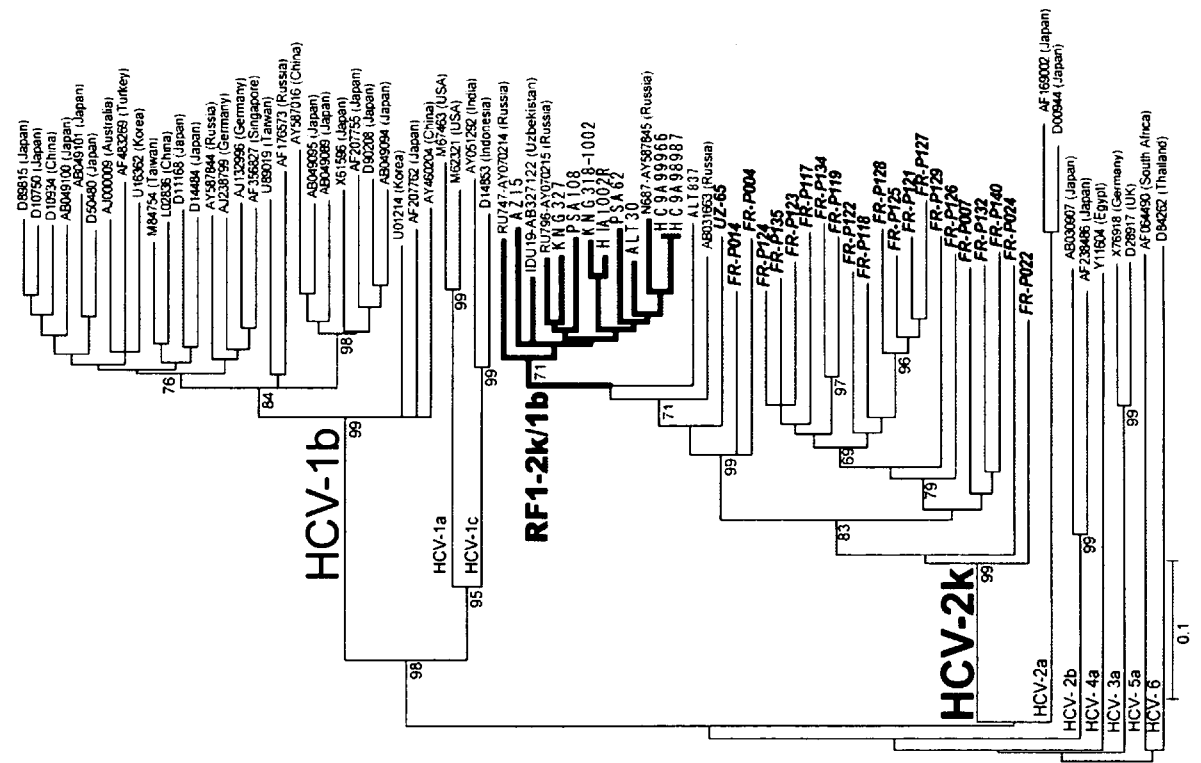
(b)

2k/1b clone:	10	10 <sup>2</sup>	10 <sup>3</sup>	NC	10	10 <sup>2</sup>	10 <sup>3</sup>	NC	10	10 <sup>2</sup>	10 <sup>3</sup>	ウイルス量 (copy/assay)
1b Clone :	-	-	-	-	10 <sup>5</sup>	10 <sup>5</sup>	10 <sup>5</sup>	10 <sup>5</sup>	10 <sup>6</sup>	10 <sup>6</sup>	10 <sup>6</sup>	

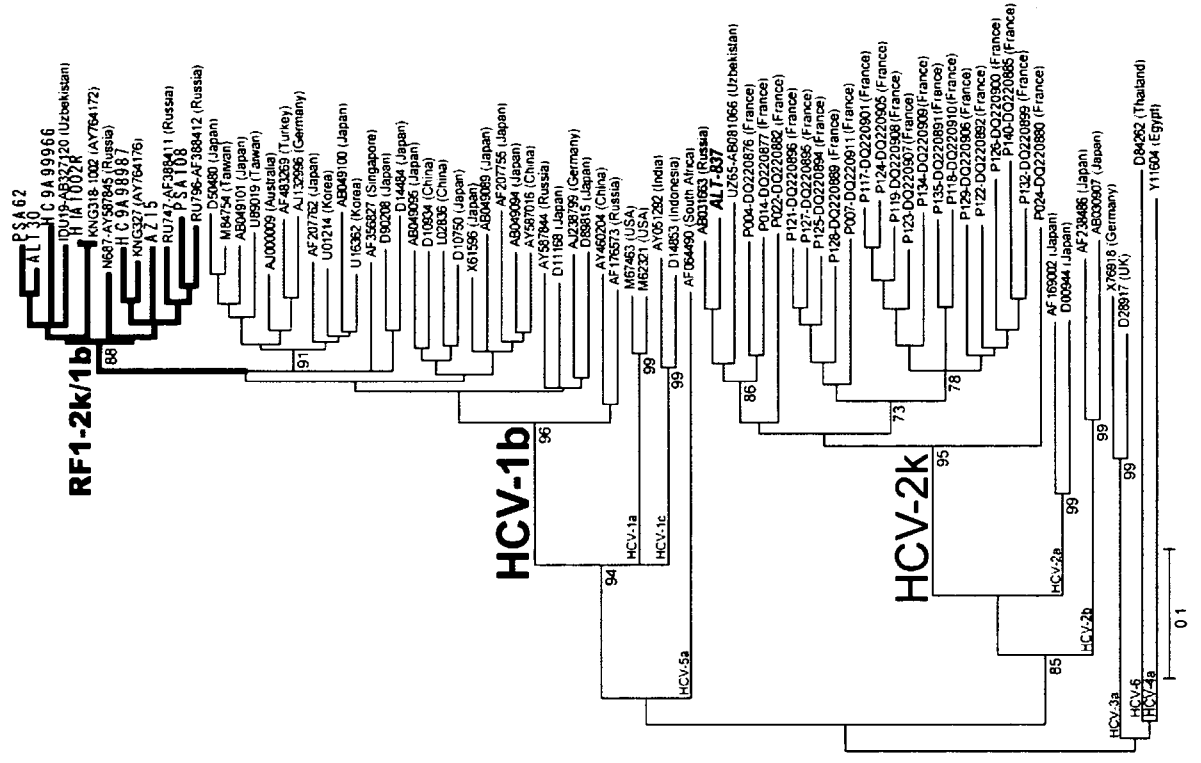
↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓



[Core/E1]



[NS5b]





厚生科学研究費補助金（日米医学協力研究会肝炎専門部会）  
分担研究報告書

C型肝炎における肝脂肪化と酸化ストレス・肝発癌

分担研究者： 小池和彦 東京大学医学部（病）・教授

研究要旨：我々は、マウスモデルを用いてC型肝炎ウイルス(HCV)コア蛋白が肝発癌を引き起こすことを示してきた。この動物モデルでは、明らかな炎症の不在下に肝脂肪化(steatosis)が発生し、その後に肝細胞癌が発生している。このマウスモデルおよびC型肝炎患者の肝に蓄積する脂肪には特徴があり、オレイン酸などのC18一価不飽和脂肪酸が増加しており、HCV感染により脂質代謝異常が引き起こされることが明らかになっている。また、インスリン抵抗性もHCVにより惹起されることが示され、HCVによる代謝への影響が、HCVによる病原性発現において重要な役割を果たしている可能性がある。今回、我々は脂質代謝に関連する核内受容体の一つである peroxisome proliferator-activated receptor (PPAR)  $\alpha$  の、HCV コア遺伝子トランスジェニックマウスにおける発現状態を検討した。PPAR  $\alpha$  タンパクは本マウスモデルの肝において核に蓄積し、cyclin D1 や acyl-CoA oxidase (ACO) 等の PPAR  $\alpha$  ターゲット遺伝子産物も同様に増加していた。HCV 関連肝発癌における PPAR  $\alpha$  活性化の意義を明らかにするため、PPAR  $\alpha$  ノックアウトマウスとコア遺伝子トランスジェニックマウスを掛け合わせたところ、PPAR  $\alpha$  の持続的な活性化無しでは肝脂肪化も肝癌も生じないことが明らかになった。肝脂肪化、ミトコンドリア機能障害と肝発癌が密接に関連していることを示すデータであり、HCV の病原性発現を抑制する方策の開発に有用と考えられる。

#### A. 研究目的

C型慢性肝炎における肝発癌の機序はまだ完全にはわかっていない。チンパンジー以外にC型肝炎の疾患モデル動物がないことも、解明の妨げとなっている。我々は、HCVのコア蛋白がトランスジェニックマウス(Tg)において肝細胞を誘発することを確認し、このマウスモデルを用いてC型肝炎における病態の解明、肝発癌機序の解明を行ってきた。また、マウスモデルで得ら

れた知見をもとにして、ヒトC型肝炎患者においても検討を行ってきた。

C型肝炎動物モデルであるコア遺伝子 Tg においては、明らかな炎症の不在下に肝脂肪化(steatosis)が発生し、その後に肝細胞癌(肝癌)が発生している。また、このマウスモデルおよびC型肝炎患者の肝に蓄積する脂肪には特徴があり、オレイン酸、ヴァクセン酸といった一価不飽和脂肪酸が増加していることが明らかになっている。ま

た、インスリン抵抗性も HCV により惹起されることが示され、HCV による代謝への影響が HCV による病原性発現において重要な役割を果たす可能性がある。

また、我々はこれまでに脂質代謝に関連の深い RXR (retinoid X receptor)  $\alpha$  が HCV コア蛋白と DNA 結合領域で結合して、RXR  $\alpha$  反応性エレメントをもつ遺伝子の発現を活性化することを示してきた。更に、RXR  $\alpha$  と heterodimer を形成する PPAR (peroxisome proliferator-activated receptor)  $\alpha$  への反応性エレメントをもつ遺伝子の発現も、コア蛋白によって活性化されることも示してきた。本年度、我々は脂肪酸の輸送と異化に関連が深い PPAR  $\alpha$  発現の状態を本マウスモデルにおいて検討した。

## B. 方法

本研究の対象動物として用いた Tg は、HCV タンパク質そのものが肝発癌活性を有することを証明する上で重要な動物モデルである。このマウスモデルにおいては、2 か月齢でインスリン抵抗性を、3 か月齢で肝脂肪化を、16 か月齢で肝癌を発生する。また、このマウスでは若年時から肝細胞のミトコンドリアに機能障害を起こし、特に電子伝達系コンプレックス I の傷害によって酸化ストレスの過剰産生を起こす事が明らかになっている。

PPAR  $\alpha$  を始めとするタンパクの発現は、ウエスタンブロッティングあるいは免疫組織染色を行ない発現レベルを確認した。また、ノーザンブロッティング、Taqman PCR も適宜施行した。

さらに、米国 NIH の Frank Gonzalez 博士との共同研究により、PPAR  $\alpha$  ノックアウト (KO) マウスとコア遺伝子本 Tg との掛け合わせを行なった。

## C. 結果

(1) HCV コア遺伝子 Tg 肝においては、PPAR  $\alpha$  タンパクが増加していた。主に核内に蓄積しており、また mRNA レベルには変化が認められなかった。Pulse-chase 実験によって、コア蛋白の存在によって PPAR  $\alpha$  の安定性が増加することが核内 PPAR  $\alpha$  タンパク増加の機序と考えられた。

(2) HCV コア遺伝子 Tg 肝において、PPAR  $\alpha$  ターゲット遺伝子である cyclin D1、CDK4、acyl-CoA oxidase、peroxisome thiolase、liver-fatty acid binding protein (L-FABP) 等のタンパク、mRNA はともに増加していた。

(3) HCV コア蛋白による病原性発現における PPAR  $\alpha$  活性化の意義を明らかにするために、PPAR  $\alpha$  KO マウスとコア遺伝子 Tg を掛け合わせてハイブリッドマウスを作製した。この CoreTg/PPAR  $\alpha$  KO マウスにおいては、肝脂肪化が認められなかった。

(4) 更に、CoreTg/PPAR  $\alpha$  KO マウスにおいては PPAR  $\alpha$  ターゲット遺伝子の発現は消失・低下し、ミトコンドリア障害も軽減していた。

(5) CoreTg/PPAR  $\alpha$  KO マウスにおいては肝癌も発生しなかった。これに対して CoreTg/PPAR  $\alpha$  intact マウスでは、これまでの報告通りに雄の約 35% で肝癌を発生した。

(6) PPAR  $\alpha$  がヘテロのコア遺伝子 Tg にお

いても肝脂肪化、肝癌は発生しなかった。これらの事実は、コア蛋白による病原性発現のためには PPAR $\alpha$  の存在ではなく、持続的な活性化が必要であることを示している。

(7) PPAR $\alpha$ ヘテロのマウスに clofibrate (peroxisome proliferator agonist) を 24 ヶ月にわたり投与したところ、コア遺伝子 (+) PPAR $\alpha$ ヘテロマウスでのみ肝脂肪化を生じ、肝発癌もコア遺伝子 (-) PPAR $\alpha$ ヘテロマウスに比し有意に高率であった。

#### D. 考察

今回の研究において、PPAR $\alpha$ の持続的な活性化が HCV コア蛋白による病原性発揮に必要であることが示唆された。しかしながら、PPAR $\alpha$ の活性化のみでは肝脂肪化は起こらず、また肝発癌も低頻度である。HC コア蛋白と PPAR $\alpha$ 活性化の共存がこの様な表現型をもたらすと推測された。

コア蛋白によって肝脂肪化、脂肪酸の増加をもたらされると、これが PPAR $\alpha$ 活性化をもたらす。また、RXR $\alpha$ を介して、コア蛋白は PPAR $\alpha$ を活性化する。PPAR $\alpha$ 活性化自体は通常は脂肪の異化をもたらすが、PPAR $\alpha$ 活性化は同時に ACO 活性化を介して酸化ストレスを増加させ、ミトコンドリア機能を障害する。つまり、コア蛋白によって既に誘発されているミトコンドリア機能障害、電子伝達系の障害が PPAR $\alpha$ 活性化によって更に増悪し、脂肪酸を介した「負のループ」の形成、いわば「脂肪酸スパイラル」とでも呼ぶべきものが起こり、肝脂肪化、脂肪酸増加、酸化ストレス産生、細胞増殖遺伝子発現増加という一連の現象を次々と惹起し、細胞増殖遺伝子発現増加と相まって、

最終的に肝癌の発生へと至ると考えられる。

HCV による病原性発現において、コア蛋白によるミトコンドリア機能の修飾は大きな意義を保持していること、PPAR $\alpha$ の活性化はそれを更に増悪する因子として機能することが示唆された。C 型肝炎における病態解明と病変進行の予防法の開発において重要な発見と考える。

#### E. 結論

PPAR $\alpha$ タンパクは HCV コア遺伝子 Tg 肝において核に蓄積し、cyclin D1 や ACO 等の PPAR $\alpha$ ターゲット遺伝子産物も同様に増加していた。PPAR $\alpha$ の持続的な活性化無しでは肝脂肪化も肝癌も生じないことが明らかになった。コア蛋白がもたらすミトコンドリア機能障害、電子伝達系の障害が PPAR $\alpha$ 活性化によって更に増悪し、脂肪酸を介した「負のループ」が形成され、肝脂肪化、脂肪酸増加、酸化ストレス産生、細胞増殖遺伝子発現増加という一連の現象を次々と惹起して、最終的に肝癌の発生へと至ると考えられる。HCV の病原性発現を抑制する方策の開発に有用と考えられる。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

- 1) **Koike K, Tsukada K, Yotsuyanagi H, Moriya K, Kikuchi Y, Oka S, Kimura S. Prevalence of Coinfection with Human Immunodeficiency Virus and Hepatitis C Virus in Japan. *Hepato Res* 2007;37:2-5.**

- 2) Miyamoto H, Moriishi K, Moriya K, Murata S, Tanaka K, Suzuki T, Miyamura T, Koike K, Matsuura Y. Hepatitis C Virus Core Protein Induces Insulin Resistance through a PA28 $\gamma$ -Dependent Pathway. **J Virol** 2007;81:1727-1735.
- 3) Moriishi K, Mochizuki R, Moriya K, Miyamoto H, Mori Y, Abe T, Murata S, Tanaka K, Suzuki T, Miyamura T, Koike K, Matsuura Y. Critical role of PA28  $\gamma$  in hepatitis C virus-associated steatogenesis and hepatocarcinogenesis. **Proc Natl Acad Sci USA** 2007;104:1661-1666.
- 4) Suzuki Y, Yotsuyanagi H, Okuse C, Nagase Y, Takahashi H, Moriya K, Suzuki M, Koike K, Iino S, Itoh F. Fatal liver failure caused by reactivation of lamivudine-resistant hepatitis B virus: A case report. **World J Gastroenterol** 2007;13:964-969.
- 5) Yotsuyanagi H, Koike K. Mechanisms underlying drug resistance in antiviral treatment for infections with hepatitis B and C viruses. **J Gastroenterol** 2007;42:329-335.
- 6) Koike K. Hepatitis C virus contributes to hepatocarcinogenesis by modulating metabolic and intracellular signaling pathways. **J Gastroenterol Hepatol** 2007;22:S108-111.
- 7) Koike K. Pathogenesis of HCV-associated HCC: dual-pass carcinogenesis through the activation of oxidative stress and intracellular signaling. **Hepatol Res** 2007;37:S38-S43.
- 8) Aono J, Yotsuyanagi H, Miyoshi H, Tsutsumi T, Fujie H, Shintani Y, Moriya K, Okuse C, Suzuki M, Yasuda K, Iino S, Koike K. Amino acid substitutions in S region of hepatitis B virus in the sera from patients with acute hepatitis. **Hepatol Res** 2007;37:731-739.
- 9) Ichibangase T, Moriya K, Koike K, Imai K. A novel proteomics method revealed disease-related proteins in the liver of hepatitis C mouse model. **J Proteome Res** 2007;6:2841-2849.
- 10) Okuse C, Yotsuyanagi H, Koike K. Hepatitis C as a Systemic Disease: Virus and Host Immunologic Responses Underlie Hepatic and Extrahepatic Manifestations. **J Gastroenterol** 2007;42:857-865.
- 11) Hashimoto M, Sugawara Y, Tamura S, Kaneko J, Matsui Y, Moriya K, Koike K, Makuuchi M. Impact of new methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* carriage postoperatively after living donor liver transplantation. **Transplant Proc** 2007;39:3271-3275.
- 12) Tanaka N, Moriya K, Kiyosawa K, Koike K, Aoyama T. Hepatitis C virus core protein induces spontaneous and persistent activation of peroxisome proliferator-activated receptor alpha in transgenic mice: Implications for HCV-associated hepatocarcinogenesis. **Int J Cancer** 2008;122:124-131.
- 13) Koike K, Kikuchi Y, Kato M, Takamatsu J, Shintani Y, Tsutsumi T, Fujie H, Miyoshi H, Moriya K, Yotsuyanagi H. Prevalence of

- Hepatitis B Virus Infection in Patients with Human Immunodeficiency Virus in Japan. **Hep Res** 2008;38:310-314.
- 14) Tanaka N, Moriya K, Kiyosawa K, Koike K, Gonzalez FJ, Aoyama T. PPAR- $\alpha$  is essential for severe hepatic steatosis and hepatocellular carcinoma induced by HCV core protein. **J Clin Invest** 2008 118:683-694.
- 15) Nagase Y, Yotsuyanagi H, Okuse C, Yasuda K, Kato T, Koike K, Suzuki M, Nishioka K, Iino S, Itoh F. Effect of treatment with interferon alpha-2b and ribavirin in patients infected with genotype 2 hepatitis C virus. **Hepatol Res** 2008;38:252-258.
- 16) Hashimoto M, Sugawara Y, Tamura S, Kaneko J, Matsui Y, Moriya K, Koike K, Makuuchi M. Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* infection after living-donor liver transplantation in adults. **Transpl Infect Dis** 2008 in press.
- 17) Koike K, Tsutsumi T, Miyoshi H, Shinzawa S, Shintani Y, Fujie H, Yotsuyanagi H, Moriya K. Molecular Basis for the Synergy between Alcohol and Hepatitis C Virus in Hepatocarcinogenesis. **J Gastroenterol Hepatol** 2008 in press.
- 18) Ishizaka N, Ishizaka Y, Seki G, Nagai R, Yamakado M, Koike K. Association between hepatitis B/C viral infection, chronic kidney disease and insulin resistance in individuals undergoing general health screening. **Hepatol Res** 2008 in press.
- 19) Newell P, Villanueva A, Friedman SL, Koike K, Llovet JM. Experimental models of hepatocellular carcinoma. **J Hepatol** 2008 in press.
2. 学会発表
- 1) Koike K. Oxidative stress and iron in HCV-associated hepatocarcinogenesis. **BioIron** 2007. 2<sup>nd</sup> Congress of the International BioIron Society, Kyoto, 2007.
- 2) K Moriya, H Miyoshi, S Shinzawa<sup>1</sup> T Tsutsumi, H Fujie, Y Shintani, H Yotsuyanagi, T Suzuki, T Miyamura, Y. Matsuura, K Koike. FK506 ameliorates metabolic disturbance and oxidative stress in hepatitis C virus infection. 42<sup>nd</sup> Annual Meeting of the EUROPEAN ASSOCIATION FOR THE STUDY OF THE LIVER, Barcelona, 2007.
- 3) Moriya K, Miyoshi H, Shinzawa S, Tsutsumi T, Fujie H, Shintani Y, Yotsuyanagi H, Suzuki T, Miyamura T, Matsuura Y, Koike K. Amelioration of Metabolic Disturbances and Oxidative Stress in Hepatitis C Viral Infection by FK506 (Tacrolimus). **HepDart**, Maui, 2007.
- 4) Koike K. Molecular Basis for Synergy between HCV Infection and Alcohol in Hepatocarcinogenesis. 2<sup>nd</sup> International Symposium on Alcoholic Liver and Pancreatic Diseases and Cirrhosis (ALPD), Kobe, 2007.
- 5) Yotsuyanagi H, Yamada N, Miyoshi H, Tsutsumi T, Fujie H, Shintani Y, Moriya K, Okuse C, Suzuki M, Itoh F, Yasuda K, Iino S, Koike K. Nucleoside and amino acid sequences determining the fate of persistent



hepatitis B virus infection with seroconversion to anti-HBe antibody. Asian Pacific Digestive Week (APDW), Kobe, 2007.

- 6) Tsutsumi T, Matsuda M, Moriya K, Miyoshi H, Fujie H, Shintani Y, Yotsuyanagi H, Suzuki T, Miyamura T, Koike K.

Proteomics Analysis Reveals Overexpression of Prohibitin in Cultured Cell and Mouse Expressing Hepatitis C Virus Core Protein. International Liver Cancer Association, 1<sup>st</sup> annual Meeting, Barcelona, 2007.

- 7) Koike K. Steatosis, Liver Injury and Hepatocarcinogenesis in HCV Infection. Hepatic Inflammation and Immunity 2008, Galveston, 2008.

H. 知的財産権の出願・登録状況  
該当なし

厚生労働科学研究費補助金（国際医学協力研究事業）  
（総括・分担）研究報告書

**C型肝炎ウイルスと樹状細胞**

（主任又は分担）研究者 考藤 達哉 大阪大学大学院医学系研究科樹状細胞制御治療学准教授

**研究の要旨**

樹状細胞（DC）にはウイルス感知系である Toll 様受容体（TLR）、RIG-I、MDA-5 が発現しており、I 型 IFN や炎症性サイトカインなどの発現を介して先天免疫、獲得免疫の活性化に関与する。C 型慢性肝炎における DC の TLR/RIG-I/MDA-5 の発現と機能及び病態における意義を解析した。C 型慢性肝炎患者のミエロイド DC (MDC) では、非感染者と比較して TLR2、TLR4、RIG-I の発現は増加しているが、TLR3、MDA-5 の発現には差を認めなかった。C 型慢性肝炎患者 MDC では、TLR3、TLR4 アゴニストによる IFN- $\beta$ 、TNF- $\alpha$ 、IL-12 などの産生が非感染者に比べ低下していた。その機序として TLR3、TLR4 のアダプター分子である TRIF、TRAF6 の発現低下が示唆された。C 型肝炎患者 MDC における TLR/RIG-I の機能低下は、DC が HCV 感染を十分に感知できず、効果的に免疫系を活性化できない可能性を示唆している。

**A. 研究目的**

樹状細胞（DC）は強力な抗原提示細胞であり、ウイルス、癌に対する免疫応答の中心的役割を果たしている。我々の検討により C 型慢性肝炎患者ではミエロイド DC (MDC) とプラスマサイトイド DC (PDC) が減少しており、MDC の Th1 誘導能や PDC の IFN 産生能が低下していることが明らかになった。DC には Toll 様受容体（TLR）や RIG-I、MDA-5 が発現しており、ウイルス感染を感知して免疫応答を効果的に発動させる。HCV 感染においてもこれらのウイルス感知系が免疫病態に関与していると想定されるが、その発現と機能については明らかではない。本研究では C 型慢性肝炎の DC における TLR/RIG-I/MDA-5 の発現と機能を解析し、DC の機能制御による HCV 排除の治療法を確立することを目的とする。

**B. 研究方法**

C 型慢性肝炎患者および非感染者の末梢血より MDC を分離し、TLR/RIG-I/MDA-5 の発現を Real-time PCR 法を用いて検討した。また各 TLR に特異的なアゴニストを用いて MDC を刺激し、DC のサイトカイン産生能を検討した。HCV 感染による TLR/RIG-I 系のシグナル伝達異常の有無を評価するために、TLR/RIG-I のシグナル伝達関連分子を PCR-Array を用いて網羅的に解析した。また多数例で TLR/RIG-I のアダプター分子の発現を比較した。

（倫理面への配慮）

本研究は大阪大学医学部倫理委員会の承認を受けており、事前に被験者の同意を得ており倫理的問題はないと考える。

**C. 研究結果**

MDC における TLR2、TLR4、RIG-I の発現は C 型慢性肝炎患者で亢進していたが、TLR3、MDA-5 の発現は非感染者と同程度であった。TLR3、TLR4 のアゴニスト刺激により MDC の IFN- $\beta$ 、TNF- $\alpha$ 、IL-12 の

発現は亢進したが、その程度は C 型慢性肝炎患者で低かった。C 型患者 MDC では MAPK 系や NF- $\kappa$ B 系関連分子の発現が低下していた。また IPS-1 の発現は C 型慢性肝炎患者 MDC で高値であったが、TRIF、TRAF6 は患者 MDC で低値であった。

**D. 考察**

C 型慢性肝炎患者 MDC では TLR3、TLR4 下流のシグナル伝達が強く抑制されていることが示された。その機序として TRIF、TRAF6 の発現低下が関与している可能性が示唆された。C 型慢性肝炎 MDC における TLR の機能低下は、DC が HCV 感染を感知して効果的に免疫系を活性化できない可能性を示唆している。

**E. 結論**

C 型慢性肝炎患者 MDC では TLR2、TLR4、RIG-I の発現が亢進しているにも関わらず、TLR3、TLR4 の刺激によるサイトカイン誘導は低下しており、下流でのシグナル伝達阻害機構の存在が示された。TLR3-TRIF-TRAF6 は DC 機能活性化のための治療標的になる可能性が示唆された。

**F. 健康危険情報** なし

**G. 研究発表**

**1. 論文発表**

**Kanto, T. et al.** Innate immunity in hepatitis C virus infection: Interplay among dendritic cells, natural killer cells and natural killer T cells. *Hepatol Res* 2007 37 Suppl 3: S319-326.

**Itose, I. et al.** Involvement of dendritic cell frequency and function in virological relapse in pegylated interferon- $\alpha$ 2b and ribavirin therapy for chronic hepatitis C patients. *J Med Virol* 2007 79: 511-521.

**Miyatake, H., et al.** Impaired ability of interferon-alpha-primed dendritic cells to stimulate Th1-type CD4 T-cell response in chronic hepatitis C virus infection. *J Viral Hepat* 2007 14: 404-412.

**Jinushi, M., et al.** Natural killer cell and hepatic cell interaction via NKG2A leads to dendritic cell-mediated induction of CD4 CD25 T cells with PD-1-dependent regulatory activities. *Immunology* 2007 120: 73-82.

## 2. 学会発表

**Kanto, T., et al.** Dendritic cells and regulatory T cells as decision makers for the duration of pegylated interferon- $\alpha$  and ribavirin therapy in chronic hepatitis C patients. 58<sup>th</sup> Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases. Boston, November 2-6, 2007.

**Itose, I., et al.** Involvement of regulatory T cell dynamics in the achievement of biochemical response in 48-week PEG-IFN $\alpha$ 2b and ribavirin combination therapy for chronic hepatitis C patients. 58<sup>th</sup> Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases. Boston, November 2-6, 2007.

**Miyazaki, M., et al.** Impaired TLR/RIG-I-mediated innate immunity in myeloid dendritic cells in HCV-infected individuals. 58<sup>th</sup> Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases. Boston, November 2-6, 2007.

**Miyatake, H., et al.** Involvement of IL-7 and thymic stromal lymphopoietin in functional impairment of myeloid dendritic cells in chronic hepatitis C virus infection. 58<sup>th</sup> Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases. Boston, November 2-6, 2007.

## H. 知的財産権の出願・登録状況

特に予定なし

### III. 研究成果の刊行に関する一覧表

平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金(社会保障国際協力推進研究事業)  
主にアジアに蔓延するウイルス性肝疾患の制御に資する為の日米合作的肝炎ウイルス基礎研究  
研究成果の刊行に関する一覧表

- Wenny Astuti Achwan, Zainul Muttaqin, Edy Zakaria, Sulaiman Amangongu Depamede, Mulyanto, Suwignyo Sumoharjo, Fumio Tsuda, Kazuaki Takahashi, Natsumi Abe, Shunji Mishiro. Epidemiology of Hepatitis B, C, and E Viruses and Human Immunodeficiency Virus Infections in Tahuna, Sangihe-Talaud Archipelago, Indonesia. *Intervirology* 2007;50:408-411
- Kojiro Michitaka, Kazuaki Takahashi, Shinya Furukawa, Gaku Inoue, Yoichi Hiasa, Norio Horiike, Morikazu Onji, Natsumi Abe, Shunji Mishiro. Prevalence of hepatitis E virus among wild boar in the Ehime area of western Japan. *Hepatol Res* 2007;37:214-20
- Akinori Tamura, Yohko K Shimizu, Torahiko Tanaka, Kazumichi Kuroda, Yasuyuki Arakawa, Kazuaki Takahashi, Shunji Mishiro, Kazufumi Shimizu, Mitsuhiro Moriyama. Persistent infection of hepatitis E virus transmitted by blood transfusion in a patient with T-cell lymphoma. *Hepatol Res* 2007;37:113-20
- Masami Koike, Kazuaki Takahashi, Shunji Mishiro, Atsushi Matsui, Mie Inao, Sumiko Nagoshi, Akihiko Ohno, Satoshi Mochida, Kenji Fujiwara. Full-Length Sequences of Two Hepatitis E Virus Isolates Representing an Eastern China-Indigenous Subgroup of Genotype 4. *Intervirology* 2007;50:181-189
- Khan A, Kurbanov F, Tanaka Y, Elkady A, Sugiyama M, Dustov A, Mizokami M. Epidemiological and clinical evaluation of hepatitis B, hepatitis C and delta hepatitis viruses in Tajikistan. *J Med Virol*. 2007 in press
- Kurbanov F, Tanaka Y, Avazova D, Khan A, Sugauchi F, Kan N, Kurbanova-Khudayberganova D, Khikmatullaeva A, Musabaev E, Mizokami M. Detection of hepatitis C virus natural recombinant RF1\_2k/1b strain among intravenous drug users in Uzbekistan. *Hepatol Res*. 2007. in press
- Kurbanov F, Tanaka Y, Elkady A, Oyunsuren T, Mizokami M. Tracing Hepatitis C and Delta Viruses to Estimate Their Contribution in HCC Rates in Mongolia. *J Viral Hepat* 14: 667-674, 2007
- Koike K, Tsukada K, Yotsuyanagi H, Moriya K, Kikuchi Y, Oka S, Kimura S. Prevalence of Coinfection with Human Immunodeficiency Virus and Hepatitis C Virus in Japan. *Hepatol Res* 2007;37:2-5
- Koike K. Pathogenesis of HCV-associated HCC: dual-pass carcinogenesis through the activation of oxidative stress and intracellular signaling. *Hepatol Res* 2007;37:S38-43
- Koike K. Hepatitis C virus contributes to hepatocarcinogenesis by modulating metabolic and intracellular signaling pathways. *J Gastroenterol Hepatol* 2007;22:S108-111
- Miyamoto H, Moriishi K, Moriya K, Murata S, Tanaka K, Suzuki T, Miyamura T, Koike K, Matsuura Y. Critical role of PA28  $\gamma$  in hepatitis C virus-associated steatogenesis and hepatocarcinogenesis. *J Virol* 2007;81:1661-6
- Moriishi K, Mochizuki R, Moriya K, Miyamoto H, Mori Y, Abe T, Murata S, Tanaka K, Suzuki T, Miyamura T, Koike K, Matsuura Y. Critical role of PA28  $\gamma$  in hepatitis C virus-associated steatogenesis and hepatocarcinogenesis. *Proc Natl Acad Sci USA* 2007;104:1661-6
- Yotsuyanagi H, Koike K. Mechanisms underlying drug resistance in antiviral treatment for infections with hepatitis B and C viruses. *J Gastroenterol* 2007;42:329-35
- Suzuki Y, Yotsuyanagi H, Okuse C, Nagase Y, Takahashi H, Moriya K, Suzuki M, Koike K, Iino S, Itoh F. Fatal liver failure caused by reactivation of lamivudine-resistant hepatitis B virus: A case report. *World J Gastroenterol* 2007;13:964-9
- Aono J, Yotsuyanagi H, Miyoshi H, Tsutsumi T, Fujie H, Shintani Y, Moriya K, Okuse C, Suzuki M, Yasuda K, Iino S, Koike K. Amino acid substitutions in S region of hepatitis B virus in the sera from patients with acute hepatitis. *Hepatol Res* 2007;37:731-9
- Ichibangase T, Moriya K, Koike K, Imai K. A novel proteomics method revealed disease-related proteins in the liver of hepatitis C mouse model. *J Proteome Res* 2007;6:2841-9
- Okuse C, Yotsuyanagi H, Koike K. Hepatitis C as a Systemic Disease: Virus and Host Immunologic Responses Underlie Hepatic and Extrahepatic Manifestations. *J Gastroenterol* 2007;42:857-65
- Hashimoto M, Sugawara Y, Tamura S, Kaneko J, Matsui Y, Moriya K, Koike K, Makuuchi M. Impact of new methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* carriage postoperatively after living donor liver transplantation. *Transplant Proc* 2007;39:3271-5
- Tanaka N, Moriya K, Kiyosawa K, Koike K, Aoyama T. Hepatitis C virus core protein induces spontaneous and persistent activation of peroxisome proliferator-activated receptor  $\alpha$  in transgenic mice: Implications for HCV-associated hepatocarcinogenesis. *Int J Cancer* 2007;122:124-31
- Koike K, Kikuchi Y, Kato M, Takamatsu J, Shintani Y, Tsutsumi T, Fujie H, Miyoshi H, Moriya K, Yotsuyanagi H. Prevalence of Hepatitis B Virus Infection in Patients with Human Immunodeficiency Virus in Japan. *Hep Res* 2007;38:310-4
- Zeisel MB, Koutsoudakis G, Schnober EK, Haberstroh A, Blum HE, Cosset FL, Wakita T, Jaeck D, Doffoel M, Royer C, Soulier E, Schvoerer E, Schuster C, Stoll-Keller F, Bartenschlager R, Pietschmann T, Barth H, Baumert TF. Scavenger receptor class B type I is a key host factor for hepatitis C virus infection required for an entry step closely linked to CD81. *Hepatology*. 2007 46(6):1722-31.
- Ariumi Y, Kuroki M, Abe K, Dansako H, Ikeda M, Wakita T, Kato N. DDX3 DEAD-box RNA helicase is required for hepatitis C virus RNA replication. *J Virol*. 2007 81(24):13922-6.
- Miyazawa Y, Atsuzawa K, Usuda N, Watashi K, Hishiki T, Zayas M, Bartenschlager R, Wakita T, Hijikata M, Shimotohno K. The lipid droplet is an important organelle for hepatitis C virus production. *Nat Cell Biol*. 2007 9(9):1089-97.
- Delgrange D, Pillez A, Castelain S, Cocquerel L, Rouillé Y, Dubuisson J, Wakita T, Duverlie G, Wychowski C. Robust production of infectious viral particles in Huh-7 cells by introducing mutations in hepatitis C virus structural proteins. *J Gen Virol*. 2007 88(9):2495-503.

- Murayama A, Date T, Morikawa K, Akazawa D, Miyamoto M, Kaga M, Ishii K, Suzuki T, Kato T, Mizokami M, Wakita T. The NS3 helicase and NS5B-to-3'X regions are important for efficient hepatitis C virus strain JFH-1 replication in Huh7 cells. *J Virol*. 2007 81(15):8030-40.
- Date T, Miyamoto M, Kato T, Morikawa K, Murayama A, Akazawa D, Tanabe J, Sone S, Mizokami M, Wakita T. An infectious and selectable full-length replicon system with hepatitis C virus JFH-1 strain. *Hepatology Res*. 2007 37(6):433-43.
- Akazawa D, Date T, Morikawa K, Murayama A, Miyamoto M, Kaga M, Barth H, Baumert TF, Dubuisson J, Wakita T. CD81 expression is important for the permissiveness of Huh7 cell clones for heterogeneous hepatitis C virus infection. *J Virol*. 2007 81(10):5036-45.
- Kato T, Matsumura T, Heller T, Saito S, Sapp RK, Murthy K, Wakita T, Liang TJ. Production of infectious hepatitis C virus of various genotypes in cell cultures. *J Virol*. 2007 81(9):4405-11.
- Larrea E, Riezu-Boj JI, Gil-Guerrero L, Casares N, Aldabe R, Sarobe P, Civeira MP, Heeney JL, Rollier C, Verstrepen B, Wakita T, Borrás-Cuesta F, Lasarte JJ, Prieto J. Upregulation of indoleamine 2,3-dioxygenase in hepatitis C virus infection. *J Virol*. 2007 81(7):3662-6.
- Kanto, T. et al. Innate immunity in hepatitis C virus infection: Interplay among dendritic cells, natural killer cells and natural killer T cells. *Hepatology Res* 2007 37 Suppl 3: S319-326.
- Itose, I. et al. Involvement of dendritic cell frequency and function in virological relapse in pegylated interferon- $\alpha$ 2b and ribavirin therapy for chronic hepatitis C patients. *J Med Virol* 2007 79: 511-521.
- Miyatake, H., et al. Impaired ability of interferon- $\alpha$ -primed dendritic cells to stimulate Th1-type CD4 T-cell response in chronic hepatitis C virus infection. *J Viral Hepat* 2007 14: 404-412.
- Jinushi, M., et al. Natural killer cell and hepatic cell interaction via NKG2A leads to dendritic cell-mediated induction of CD4 CD25 T cells with PD-1-dependent regulatory activities. *Immunology* 2007 120: 73-82

(和文は省略)

---

#### IV. 研究成果の刊行物・別刷

## Epidemiology of Hepatitis B, C, and E Viruses and Human Immunodeficiency Virus Infections in Tahuna, Sangihe-Talaud Archipelago, Indonesia

Wenny Astuti Achwan<sup>a-c</sup> Zainul Muttaqin<sup>b</sup> Edy Zakaria<sup>b</sup>  
Sulaiman Amangongu Depamede<sup>d</sup> Mulyanto<sup>d,e</sup> Suwignyo Sumoharjo<sup>a,b</sup>  
Fumio Tsuda<sup>f</sup> Kazuaki Takahashi<sup>f</sup> Natsumi Abe<sup>f</sup> Shunji Mishiro<sup>f</sup>

<sup>a</sup>Department of Internal Medicine, <sup>b</sup>Biomedical Research Unit, <sup>c</sup>HIV-AIDS Voluntary Counseling and Testing Clinic, Mataram General Hospital, <sup>d</sup>Immunobiology Laboratory, School of Medicine, Mataram University, and <sup>e</sup>West Nusa Tenggara Hepatitis Laboratory, Mataram, West Nusa Tenggara, Indonesia; <sup>f</sup>Department of Medical Sciences, Toshiba General Hospital, Tokyo, Japan

### Key Words

Hepatitis B virus · Hepatitis C virus · Hepatitis E virus ·  
Human immunodeficiency virus · Epidemiology ·  
HBV genotypes · Vaccination · Indonesia

### Abstract

**Background/Aims:** The epidemiology of hepatitis B, C, and E viruses (HBV, HCV, HEV) and human immunodeficiency virus (HIV) has been obscure in Indonesia, particularly in its remote areas. **Methods:** We undertook serological surveys for HBV/HCV/HEV/HIV infections in the general population of Tahuna, the capital city of Sangihe-Talaud Archipelago, an outlier in the northeastern part of Indonesia. **Results:** Of 581 sera collected in April 2005, 1.4% was reactive for HBsAg, 0.2% for anti-HCV, and 5.9% for anti-HEV, but none for anti-HIV. All the HBsAg-positive sera were also positive for HBV DNA, the nucleotide sequence of which is segregated within subgenotype C5. Most of the preschool children were positive for anti-HBs as a result of an HB immunization initiated in 1997. The titer of anti-HCV in the only individual detected was very low, with a negative result of HCV RNA detection, suggesting a nonspecific reaction. Anti-HEV was significant-

ly more frequent in those over 30 years of age than in the younger age group (24 vs. 1.9%,  $p < 0.0001$ ). **Conclusion:** Thus, it seems that HCV and HIV have fortunately not made it as far as the Sangihe-Talaud Archipelago. Although HBV infection remains a major problem in adults (with the HBsAg-positive rate at 4.9%), HB immunization has begun to protect the younger generation.

Copyright © 2008 S. Karger AG, Basel

### Introduction

Indonesia consists of thousands of islands inhabited by hundreds of ethnic groups. Accordingly, the prevalence of hepatitis B and C virus (HBV and HCV) infections varies widely from one part to another, ranging from 5 to 10% for HBsAg and 1 to 4% for anti-HCV [1–5]. Tahuna is the capital city of the Sangihe-Talaud Archipelago, in a relatively isolated island (Sangihe) with a

The nucleotide sequences reported in this paper have been deposited in DDBL/EMBL/GenBank databases under accession numbers AB301078–85.

### KARGER

Fax +41 61 306 12 34  
E-Mail [karger@karger.ch](mailto:karger@karger.ch)  
[www.karger.com](http://www.karger.com)

© 2008 S. Karger AG, Basel  
0300-5526/07/0506-0408\$23.50/0

Accessible online at:  
[www.karger.com/int](http://www.karger.com/int)

Dr. Shunji Mishiro  
Department of Medical Sciences, Toshiba General Hospital  
6-3-22 Higashi Oh-i, Shinagawa-ku  
Tokyo 140-8522 (Japan)  
Tel. +81 3 3764 0511, Fax +81 3 3764 8992, E-Mail [shunji.mishiro@po.toshiba.co.jp](mailto:shunji.mishiro@po.toshiba.co.jp)



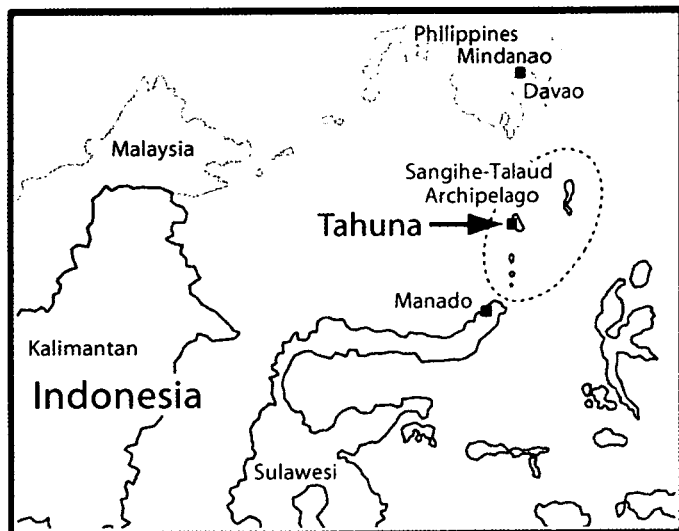


Fig. 1. Location of Tahuna.

population of 35,000, located 150 km north of Manado, Sulawesi, Indonesia, and 200 km south of Davao, Mindanao, Philippines (fig. 1). There has been no previous report on the prevalence of HBV and HCV infections in the population, let alone for hepatitis E virus (HEV) and human immunodeficiency virus (HIV) infections. Thus, this is the first report on the epidemiology of these viruses in the Sangihe-Talaud Archipelago. Another interest of our current study lay in the possibility that we might find a new genotype/subgenotype of HBV, since it had been suggested by our previous study [6] that a diverse variety of subtypes/subgenotypes/genotypes of HBV exist in Indonesia.

### Subjects and Methods

The majority of subjects in this study were primary and secondary school children (aged 7–15 years,  $n = 402$ ), along with less numbers of subjects belonging to different age groups: preschool children (aged 1–6,  $n = 15$ ), young adults (aged 16–30,  $n = 60$ ), middle-aged (aged 31–50,  $n = 62$ ), and elderly (aged 51–86,  $n = 42$ ). Serum samples were collected in April 2005. HBsAg, anti-HBs, anti-HCV, and anti-HIV were tested by commercially available kits based on hemagglutination or particle-agglutination methods (Mycell2-HBsAg and Mycell2-anti-HBs, Institute of Immunology; Ortho HCV Ab PA test, Ortho Clinical Diagnostics; and Genedia HIV-1/2 mix PA, Fujirebio), while anti-HEV was detected by an in-house system as reported previously [5]. Only repeatedly reactive samples were regarded as positive in these assays. HBV DNA and HCV RNA were tested in samples positive for HBsAg and anti-HCV, respectively, by methods described previously [7, 8] with some modifications. HBsAg-positive samples were sub-

Table 1. Prevalence of the IgG class antibodies to HEV compared between different age groups

Age	Male	Female	Male + female
1–10 years	0/84	2/66 (3.0)	2/150 (1.3)
11–20 years	0/134	4/169 (2.4)	4/303 (1.3)
21–30 years	1/5 (20)	2/19 (11)	3/24 (13)
31–40 years	5/9 (56)	2/20 (10)	7/29 (24)
41–50 years	4/14 (29)	3/19 (16)	7/33 (21)
51–60 years	2/9 (22)	3/16 (19)	5/25 (20)
61– years	1/4 (25)	5/13 (38)	6/17 (35)
Total	13/259 (5.0)	21/322 (6.5)	34/581 (5.9)

Figures in parentheses are percentage.

jected to polymerase chain reaction (PCR) to amplify a 433-nt fragment (corresponding to nt positions 403–835 of the prototype HBV subgenotype C5 sequence from the Philippines [9]) covering a 3' part of the small S gene of HBV DNA, which were then sequenced for phylogenetic analyses.

### Results

#### HCV and HIV Infections

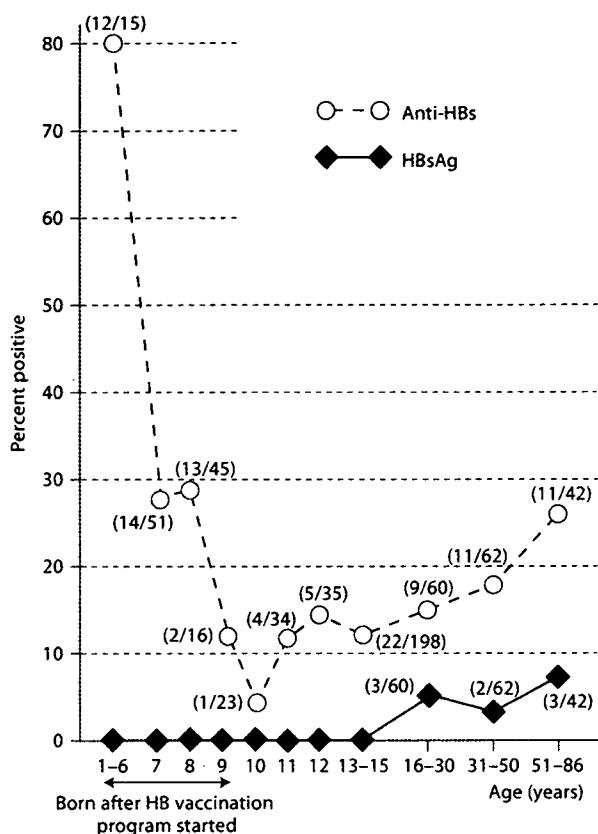
Anti-HCV was detected positive in one sample. But the titer of anti-HCV in this serum was very low, and HCV RNA could not be amplified by PCR. Anti-HIV was negative in all samples.

#### HEV Infection

IgG class anti-HEV was positive in a substantial proportion of the studied population (table 1). Notably, there was a significant difference in the positive rate by age: in particular, the difference between 1–30 years (1.9%) and over 30 years (24%) was statistically significant ( $p < 0.0001$ ).

#### HBV Infection

HBsAg and anti-HBs were tested for HBV infection, and compared between different age groups. As shown in figure 2, HBsAg was positive in 8 of the adult age groups, while none in the younger generations. By contrast, younger subjects (particularly the preschool children) were highly positive for anti-HBs. HBV DNA sequences obtained from the 8 subjects who were positive for HBsAg clustered within the subgenotype C5, together with known isolates from the Philippines [9] and Vietnam [10] (fig. 3).

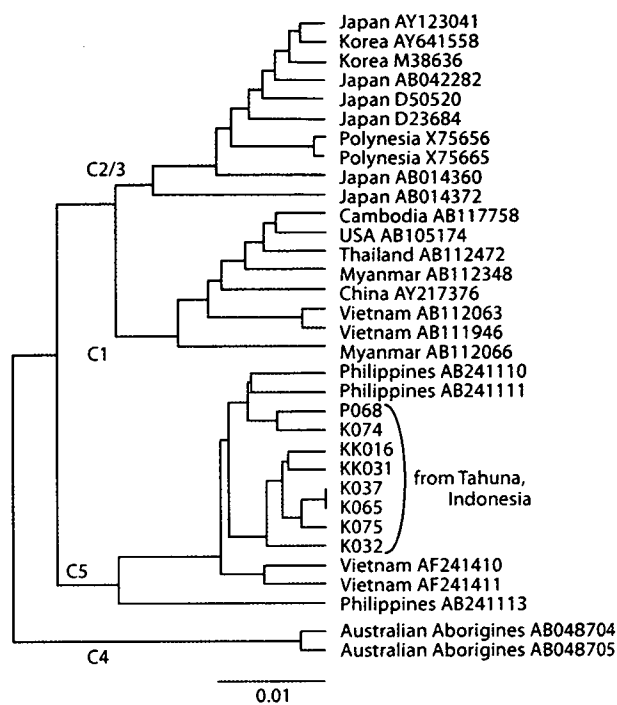


**Fig. 2.** Prevalence of HBsAg and anti-HBs in different age groups. Vaccine-induced anti-HBs is notable in those younger than 10 years of age, while naturally acquired anti-HBs is found more frequently in older age groups.

## Discussion

Our study indicated an absence or scarcity of HCV and HIV infections in Tahuna. This is noteworthy in view of a slow but steady increase in the prevalence of these viruses in other areas of Indonesia [11]. For example, we have identified more than 50 individuals who are infected with HIV in Lombok Island, which is also an outlier in Indonesia as is Sangihe Island [our unpubl. results]. However, Lombok is more easily accessible from the outside world than Sangihe. Having being difficult for outsiders to reach, Sangihe seems to have been protected from the importation of HCV and HIV, which are usually carried by illicit drug users.

Pertaining to HEV infection, it is of interest that the positive rate of anti-HEV in the adult population of Ta-



**Fig. 3.** Phylogenetic tree of HBV isolates. Tahuna-derived HBV sequences co-clustered with two each from the Philippines and Vietnam previously reported as strains of subgenotype C5.

huna (about 20%) was comparable to that reported for Hindu people living in Bali, Indonesia [5]. Anti-HEV was positive in about 20% of Hindu pregnant women whereas only in about 2% of Muslim pregnant women in Bali, and this great difference might be associated with the fact that Balinese Hindu people like to eat pork whereas Muslim people are prohibited to eat and/or even have close contact with pigs. Indeed, HEV RNA was recovered from pigs in Bali [12]. About 70% of people in Tahuna are Christians (the others are Muslim), and their fondness, especially in adults, for eating pork may explain the difference between adults and children with respect to anti-HEV positive rates.

As expected, HBV was the most prevalent virus in Tahuna among the 4 viruses examined in this study. In particular, those older than 50 years of age had a higher prevalence of HBsAg (7.1%), compared with those of younger generations. This implies that HBV infection has been endemic in this area until recently. The extraordinarily high rate of anti-HBs in preschool children (80%) and the relatively higher rate in the 7- to 8-year-old primary

school children (about 30%) compared to the children born before 1997 (about 10%) are most likely caused by the hepatitis B immunization initiated in 1997, even if the coverage of vaccination still remains insufficient.

Interestingly, Tahuna-derived HBV DNA sequences segregated, co-clustering with those from Philippines [9] and Vietnam [10], to a subgenotype within genotype C, namely C5 (fig. 3). Anthropological evidence [13] indicates that there is a very close relationship between Filipino and Vietnamese. Thus, although it is yet to be known, whether the people now living in the Sangihe Island, geographically near to the Philippines, are genetically close to Filipino as well is intriguing. In any case, the subgenotype C5 strain of HBV found in Tahuna is a kind of 'endangered species', since hepatitis B vaccination has begun to show its effects in eradicating the virus.

## Conclusion

In Tahuna of the Sangihe Island, an outlying tiny part of Indonesia, HBV and HEV infections are of epidemiological importance, particularly in adults, yet with a scarcity of HCV and HIV infections. HBV immunization towards full coverage of all infants should be encouraged. The HBV subgenotype C5 strain thereof may be worth considering for full-genome sequencing.

## Acknowledgments

This work was supported in part by grants from Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan. The authors are grateful to Drs Yabes E Gaghana and Hanny Tandayu as well as all the people who helped us collect blood samples in Tahuna for their invaluable contributions.

## References

- 1 Timan IS, Latu J, Aulia D, Moeslichan S: Hepatitis C among blood donors in Jakarta. *Southeast Asian J Trop Med Publ Health* 1993;24:278-279.
- 2 Sulaiman HA, Julitasari, Sie A, Rustam M, Melani W, Corwin A, Jennings GB: Prevalence of hepatitis B and C viruses in healthy Indonesian blood donors. *Trans R Soc Trop Med Hyg* 1995;89:167-170.
- 3 Suwignyo S: Seroepidemiology of hepatitis B and C in Indonesia. *International Hepatol Commun* 1996;5:30-37.
- 4 Wang BE, Ma WM, Sulaiman A, Noer S, Suwignyo S, Sumarsidi D, Tandon BN, Acharya SK, Nakao K, Mishiro S, Miyakawa Y, Akahane Y, Suzuki H: Demographic, clinical, and virological characteristics of hepatocellular carcinoma in Asia: survey of 414 patients from four countries. *J Med Virol* 2002; 67:394-400.
- 5 Surya IGP, Kornia K, Suwardewa TGA, Mulyanto, Tsuda F, Mishiro S: Serological markers of hepatitis B, C, and E viruses and human immunodeficiency virus type-1 infections in pregnant women in Bali, Indonesia. *J Med Virol* 2005;75:499-503.
- 6 Mulyanto, Tsuda F, Karossi AT, Soewignjo S, Roestamsjah, Sumarsidi D, Trisnamurti RH, Sumardi, Surayah, Udin LZ, Melani-Wikanta, Kanai K, Mishiro S: Distribution of the hepatitis B surface antigen subtypes in Indonesia: implications for ethnic heterogeneity and infection control measures. *Arch Virol* 1997;142:2121-2129.
- 7 Okamoto H, Okada S, Sugiyama Y, et al: Detection of hepatitis C virus RNA by a two-stage polymerase chain reaction with two pairs of primers deduced from the 5'-noncoding region. *Jpn J Exp Med* 1990;60:215-222.
- 8 Takahashi K, Akahane Y, Hino K, Ohta Y, Mishiro S: Hepatitis B virus genomic sequence in the circulation of hepatocellular carcinoma patients: comparative analysis of 40 full-length isolates. *Arch Virol* 1998;143: 2313-2326.
- 9 Sakamoto S, Tanaka Y, Orito E, Co J, Clavio J, Sugauchi F, Ito K, Ozasa A, Quino A, Ueda R, Sollano J, Mizokami M: Novel subtypes (subgenotypes) of hepatitis B virus genotypes B and C among chronic liver disease patients in the Philippines. *J Gen Virol* 2006; 87:1873-1882.
- 10 Hannoun C, Norder H, Lindh M: An aberrant genotype revealed in recombinant hepatitis B virus strains from Vietnam. *J Gen Virol* 2000;81:2267-2272.
- 11 Pohan HT: Opportunistic infection of HIV-infected/AIDS patients in Indonesia: problems and challenge. *Acta Med Indones* 2006; 38:169-173.
- 12 Wibawa ID, Muljono DH, Mulyanto, Suryadarma IG, Tsuda F, Takahashi M, Nishizawa T, Okamoto H: Prevalence of antibodies to hepatitis E virus among apparently healthy humans and pigs in Bali, Indonesia: identification of a pig infected with a genotype 4 hepatitis E virus. *J Med Virol* 2004;73:38-44.
- 13 Bellwood P: Prehistory of the Indo-Malaysian Archipelago, ed 2. Honolulu, University of Hawaii Press, 1997.

# Epidemiological and Clinical Evaluation of Hepatitis B, Hepatitis C, and Delta Hepatitis Viruses in Tajikistan

Anis Khan,<sup>1</sup> Fuat Kurbanov,<sup>1</sup> Yasuhito Tanaka,<sup>1</sup> Abeer Elkady,<sup>1</sup> Masaya Sugiyama,<sup>1</sup> Abdusamad Dustov,<sup>2</sup> and Masashi Mizokami<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>Department of Clinical Molecular Informative Medicine, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Kawasumi, Mizuho, Nagoya, Japan

<sup>2</sup>Institute of Gastroenterology of the Academy of Sciences of the Republic of Tajikistan, Dushanbe, Republic of Tajikistan

The implication of genotypes is recognized increasingly in the clinical course of hepatitis B virus (HBV) and in response to anti-viral drugs of hepatitis C virus (HCV). Genotypic prevalence of both etiological agents varies geographically and no data are available for Tajikistan. To investigate the epidemiology and clinical significance of HBV and HCV genotypes in chronic hepatitis (group 1) and liver cirrhosis/hepatocellular carcinoma (HCC) (group 2) patients in Tajikistan, 124 patients with chronic liver disease (group 1 = 84 and group 2 = 40) were enrolled. Genotypes of HBV, HCV, and delta hepatitis virus (HDV) were determined by sequencing. The overall prevalence of anti-HCV, HCV core antigen (HCVcAg) and HBsAg was 46% (57/124) and 41.1% (51/124), respectively. Coinfection of HCV/HBV, HBV/HDV, and HCV/HBV/HDV was found in 4.8% (6/124), 11.2% (12/124), and 0.8% (1/124) of cases, respectively. HDV genotype 1 was found in 19.6% (10/51) of HBsAg-positive patients. The HBV/HDV coinfection was relatively high in group 2 compared to group 1 (15% vs. 7.1%). HCV/1b detected in 84.6% (44/52) of HCV RNA-positive patients, followed by 3a (7.6%), 2a (5.7%), and 2c (1.9%). HBV/D was detected in 94.1% (48/51) of HBsAg-positive patients, followed by HBV/A [5.8% (3/51)]. T1762/A1764 double mutation was associated with liver cirrhosis/HCC in HBV-infected patients ( $P = 0.0004$ ). This is the first study on the molecular epidemiology of hepatitis viruses among chronic liver diseases patients in Tajikistan. Among HBV-infected patients, the T1762/A1764 mutation was associated with liver cirrhosis/HCC. **J. Med. Virol. 80:268–276, 2008.**

© 2007 Wiley-Liss, Inc.

**KEY WORDS:** Tajikistan; HBV; HCV; HDV; genotype; molecular epidemiology; mutations BCP

## INTRODUCTION

Hepatitis B virus (HBV) and hepatitis C virus (HCV) are common etiological agents of viral hepatitis. Approximately 350 million people are infected with HBV worldwide and the World Health Organization (WHO) estimates that approximately 170 million people are infected with HCV. Chronic HBV and/or HCV infection can progress to liver cirrhosis and hepatocellular carcinoma (HCC).

HCV displays a high degree of genetic variability and is classified into six major genotypes that show sequence similarities of only 66–69% [Pawlotsky, 2003a]. Each of the genotypes contains multiple subtypes with >75% nucleotide sequence similarity [Simmonds et al., 2005]. The HCV genotypes have different geographical distributions, that is, some strains are distributed worldwide, whereas others are found only in specific geographical regions [Pawlotsky, 2003a; Verbeeck et al., 2005]. Investigation of circulating HCV genotypes is useful as an epidemiological tool, and it is helpful for improvement of diagnostic tests and treatment efficiency [Zein, 2000; Hui et al., 2003; Pawlotsky, 2003b]. Similarly, HBV has been classified into eight major genotypes (A–H) by sequence divergence in the entire genome in excess of 8% and are distributed geographically [Miyakawa and Mizokami, 2003; Norder et al., 2004]. A number of studies have demonstrated that HBV genotypes influence the course of disease, therapeutic responsiveness and clinical outcomes [Chu et al., 2002; Miyakawa and Mizokami, 2003; Norder et al., 2004; Schaefer, 2005]. Previous reports have indicated that

\*Correspondence to: Masashi Mizokami, MD, PhD, Prof., Department of Clinical Molecular Informative Medicine, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Kawasumi 1, Mizuho, Nagoya 467-8601, Japan.  
E-mail: mizokami@med.nagoya-cu.ac.jp

Accepted 13 September 2007

DOI 10.1002/jmv.21057

Published online in Wiley InterScience  
(www.interscience.wiley.com)